（別紙4（2））

事業所名　グループホームすもも

作成日：令和　元年　5月　10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	玄関の施錠も身体拘束に含まれていることを話し合って、施錠をしないケアに取り組んでほしい。	利用者様のご希望時には解錠し、離苑にならない様に見守りを行う。	定期的に外出の機会を持ち、落ち着いた日常生活を送れるよう支援する。	6ヶ月
2	35 (13)	事業所独自の自主訓練の実施回数を増やして、災害時等の避難誘導技術を身に付けてほしい。	月に1回自主訓練を行い、実際の災害時の避難誘導技術を身に着ける。	消防署、外部の方のご協力を得ながら、災害時に備えた訓練を行う。	3ヶ月
3	45 (17)	希望者も出ているので、週に何回と決めることなく、入浴のある日には声をかけ、希望がある人には支援をしてほしい。	希望者は入浴できるよう支援する。	入浴希望の方には週に何回と決めることなく希望日に入浴できるように支援する。	2ヶ月
4	49 (18)	日常的な外出の必要性を理解しており、機会も増やしてはいるので、今後も努力を続けてほしい。	天気のいい日は、近所に散歩に出かけたり、買い物などに行き気分転換を図る。 季節の花などを見に行く。	外出者が毎回同じにならない様に、多くの方が気分転換出来るようにしていきたい。	3ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。